



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月8日
上場取引所 東

上場会社名 森永製菓株式会社
コード番号 2201

URL <http://www.morinaga.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新井 徹
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 国近 文子 (TEL) 03-3456-0150
四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	157,918	4.7	17,232	2.1	17,740	2.4	12,044	2.6
29年3月期第3四半期	150,853	8.8	16,881	56.2	17,323	54.8	11,744	52.6

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 15,863百万円(6.4%) 29年3月期第3四半期 14,905百万円(78.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	231.49	—
29年3月期第3四半期	225.67	—

※平成28年10月1日付で、普通株式5株を1株とする株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	184,735	105,211	55.6
29年3月期	185,032	91,763	48.2

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 102,738百万円 29年3月期 89,161百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	207,500	4.0	19,300	9.6	19,900	8.6	13,400	20.5	257.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期3Q	54,189,769株	29年3月期	54,189,769株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	2,159,253株	29年3月期	2,154,628株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期3Q	52,032,657株	29年3月期3Q	52,042,540株

※平成28年10月1日付で、普通株式5株を1株とする株式併合を行っております。期中平均株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は次のとおりであります。

売上高は、主力の食料品製造事業が好調に推移し、全体では1,579億1千8百万円と前年同期実績に比べ70億6千5百万円(4.7%)の増収となりました。

損益は、売上高が増収であったことにより、営業利益は前年同期実績に比べ3億5千1百万円(2.1%)増益の172億3千2百万円、経常利益も前年同期実績に比べ4億1千7百万円(2.4%)増益の177億4千万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同期実績に比べ3億円(2.6%)増益の120億4千4百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<食料品製造事業>

菓子食品部門

国内主力ブランドでは、本年度発売50周年を迎えた「チョコボール」が好調に推移し、前年同期実績を大きく上回りました。「ハイチュウ」「ダース」は前年同期実績並み、「ミルクキャラメル」「森永ビスケット」「おととと」「森永ココア」は前年同期実績を下回りましたが、主力ブランド全体では前年同期実績を上回りました。

その他のブランドでは、高ポリフェノールの効能を訴求した「カレ・ド・ショコラ」や、栄養機能への訴求を高めて顧客層を拡大した「甘酒」が好調に推移したことにより、前年同期実績を上回りました。

海外では、米国、中国、台湾は前年同期実績を大きく上回りました。インドネシアが前年同期実績を大きく下回りましたが、海外全体では前年同期実績を上回りました。

これらの結果、菓子食品部門全体の売上高は915億3千4百万円と前年同期実績に比べ19億4千1百万円(2.2%)増となりました。

冷菓部門

主力ブランドのジャンボグループは引き続き好調に推移しました。「パリパリバー」等のマルチパック商品は前年同期実績を下回りましたが、コンビニエンスストア向けのプレミアム商品が夏場好調に推移したことで、前年同期実績を上回りました。

これらの結果、冷菓部門全体の売上高は311億6千4百万円と前年同期実績に比べ14億8千9百万円(5.0%)増となりました。

健康部門

主力ブランドの「i nゼリー」は、機能性を訴求したマーケティングや広告展開の効果に加え、より高機能な新商品が好調に推移したこともあり、前年同期実績を大きく上回りました。「天使の健康」シリーズの通販事業は「おいしいコラーゲンドリンク」や「パセノール™」関連商品が好調に推移し、通販事業全体で前年同期実績を大きく上回りました。

これらの結果、健康部門全体の売上高は281億5千8百万円と前年同期実績に比べ39億円(16.1%)増となりました。

[主な商品の前年同期比 (単位：%)]

菓子食品部門		冷蔵部門	
ミルクキャラメル	95	ジャンボグループ	105
森永ビスケット	96	マルチパック	99
チョコボール	126	健康部門	
ダース	100	i nゼリー	112
ハイチュウ	100	おいしいコラーゲンドリンク	121
おととと	99	パセノール™ 関連商品	114
森永ココア	96		
菓子食品主力品計	101		
カレ・ド・ショコラ	118		

※表内の数値は国内売上にて算出

これらの結果、＜食料品製造事業＞の売上高は1,508億5千6百万円と前年同期実績に比べ5.1%増となりました。セグメント利益は168億6千9百万円と前年同期実績に比べ2億4千万円の増益となりました。

＜食料卸売事業＞

売上高は、50億8千3百万円と前年同期実績に比べ1.4%増となりました。セグメント利益は4億1千万円と前年同期実績に比べ9百万円の増益となりました。

＜不動産及びサービス事業＞

売上高は、15億8千8百万円と前年同期実績に比べ16.3%減となりました。セグメント利益は5億1千8百万円と前年同期実績に比べ3千4百万円の減益となりました。

＜その他＞

売上高3億8千9百万円、セグメント利益6千万円であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は1,847億3千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億9千7百万円減少しております。主な要因は、流動資産の受取手形及び売掛金や投資その他の資産の投資有価証券が増加した一方で、現金及び預金が減少したことなどによるものであります。

負債の残高は795億2千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ137億4千6百万円減少しております。主な要因は、固定負債の長期借入金が増加した一方で、流動負債の短期借入金や1年内償還予定の社債が減少したことなどによるものであります。

純資産の残高は1,052億1千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ134億4千8百万円増加しております。主な要因は、利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は7.4ポイント上昇し55.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年8月9日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,902	29,473
受取手形及び売掛金	21,862	27,916
商品及び製品	9,837	10,083
仕掛品	816	860
原材料及び貯蔵品	4,996	5,287
繰延税金資産	2,311	1,921
その他	4,079	3,793
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	83,801	79,329
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,699	21,437
機械装置及び運搬具(純額)	16,643	17,380
土地	26,253	24,791
その他(純額)	2,748	2,050
有形固定資産合計	67,344	65,660
無形固定資産		
のれん	588	515
その他	323	277
無形固定資産合計	912	792
投資その他の資産		
投資有価証券	27,343	33,262
退職給付に係る資産	3,018	3,165
繰延税金資産	491	464
その他	2,183	2,121
貸倒引当金	△62	△60
投資その他の資産合計	32,974	38,953
固定資産合計	101,231	105,406
資産合計	185,032	184,735

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,620	22,208
短期借入金	15,000	676
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払金	10,660	9,348
未払法人税等	3,797	1,058
賞与引当金	2,466	1,344
役員賞与引当金	56	—
その他	10,581	12,147
流動負債合計	71,182	46,783
固定負債		
長期借入金	1,282	10,700
繰延税金負債	6,195	9,231
役員退職慰労引当金	80	80
環境対策引当金	433	433
退職給付に係る負債	7,581	7,807
資産除去債務	112	114
受入敷金保証金	5,907	3,821
その他	491	550
固定負債合計	22,086	32,740
負債合計	93,269	79,523
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,612	18,612
資本剰余金	17,186	17,187
利益剰余金	38,905	48,608
自己株式	△2,634	△2,663
株主資本合計	72,070	81,745
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,916	19,013
繰延ヘッジ損益	△2	3
為替換算調整勘定	855	695
退職給付に係る調整累計額	1,321	1,280
その他の包括利益累計額合計	17,090	20,992
非支配株主持分	2,601	2,473
純資産合計	91,763	105,211
負債純資産合計	185,032	184,735

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	150,853	157,918
売上原価	73,859	76,862
売上総利益	76,994	81,055
販売費及び一般管理費	60,112	63,823
営業利益	16,881	17,232
営業外収益		
受取利息	18	17
受取配当金	311	365
持分法による投資利益	36	—
その他	314	319
営業外収益合計	680	702
営業外費用		
支払利息	98	86
持分法による投資損失	—	17
その他	140	89
営業外費用合計	238	194
経常利益	17,323	17,740
特別利益		
固定資産売却益	30	33
関係会社株式売却益	—	86
特別利益合計	30	120
特別損失		
固定資産除売却損	239	183
減損損失	24	63
投資有価証券評価損	6	—
特別退職金	—	74
その他	—	6
特別損失合計	270	327
税金等調整前四半期純利益	17,083	17,534
法人税、住民税及び事業税	5,147	3,808
法人税等調整額	134	1,727
法人税等合計	5,281	5,536
四半期純利益	11,801	11,997
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	57	△47
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,744	12,044

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	11,801	11,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,141	4,072
繰延ヘッジ損益	136	6
為替換算調整勘定	△2,153	△200
退職給付に係る調整額	△32	△40
持分法適用会社に対する持分相当額	11	28
その他の包括利益合計	3,103	3,866
四半期包括利益	14,905	15,863
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,195	15,946
非支配株主に係る四半期包括利益	△290	△82

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製 造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	143,527	5,012	1,897	150,437	416	150,853	—	150,853
セグメント間の内部売上高	328	282	401	1,011	1,061	2,072	△2,072	—
計	143,855	5,294	2,298	151,448	1,477	152,926	△2,072	150,853
セグメント利益	16,629	401	552	17,582	42	17,625	△743	16,881

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額△743百万円には、セグメント間取引消去40百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△645百万円、のれん償却額△140百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製 造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	150,856	5,083	1,588	157,528	389	157,918	—	157,918
セグメント間の内部売上高	362	231	405	999	1,062	2,061	△2,061	—
計	151,218	5,315	1,994	158,528	1,451	159,979	△2,061	157,918
セグメント利益	16,869	410	518	17,798	60	17,859	△627	17,232

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額△627百万円には、セグメント間取引消去12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△568百万円、のれん償却額△73百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

① 業績

(単位:百万円)

	平成29年3月期 第3四半期		平成30年3月期 第3四半期		前期比較		
	金額	売上高 比率(%)	金額	売上高 比率(%)	金額	売上高 比率(%)	増減率(%)
売上高	150,853		157,918		7,065		4.7
売上原価	73,859	49.0	76,862	48.7	3,003	△ 0.3	4.1
販売費及び一般管理費	60,112	39.8	63,823	40.4	3,711	0.6	6.2
販売促進費	29,248	19.4	31,560	20.0	2,312	0.6	7.9
広告宣伝費	5,146	3.4	5,855	3.7	709	0.3	13.8
運賃	6,447	4.3	6,905	4.4	458	0.1	7.1
その他	19,268	12.8	19,501	12.3	233	△ 0.5	1.2
営業利益	16,881	11.2	17,232	10.9	351	△ 0.3	2.1
営業外収益	680	0.5	702	0.4	22	△ 0.1	3.2
営業外費用	238	0.2	194	0.1	▲ 44	△ 0.1	△ 18.6
経常利益	17,323	11.5	17,740	11.2	417	△ 0.3	2.4
特別利益	30	0.0	120	0.1	90	0.1	297.7
特別損失	270	0.2	327	0.2	57	0.0	20.8
税金等調整前四半期純利益	17,083	11.3	17,534	11.1	451	△ 0.2	2.6
法人税等	5,281	3.5	5,536	3.5	255	0.0	4.8
四半期純利益	11,801	7.8	11,997	7.6	196	△ 0.2	1.7
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(▲)	57	0.0	▲ 47	△ 0.0	▲ 104	△ 0.0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,744	7.8	12,044	7.6	300	△ 0.2	2.6

② セグメント情報

(単位:百万円)

事業	平成29年3月期 第3四半期	平成30年3月期 第3四半期	前期比較	前期比(%)
食料品製造				
売上高	143,527	150,856	7,329	105.1
(売上高構成比)	(95.1%)	(95.5%)		
セグメント利益	16,629	16,869	240	101.4
食料卸売				
売上高	5,012	5,083	71	101.4
(売上高構成比)	(3.3%)	(3.2%)		
セグメント利益	401	410	9	102.3
不動産及びサービス				
売上高	1,897	1,588	▲ 309	83.7
(売上高構成比)	(1.3%)	(1.0%)		
セグメント利益	552	518	▲ 34	94.0
その他				
売上高	416	389	▲ 27	93.4
(売上高構成比)	(0.3%)	(0.3%)		
セグメント利益	42	60	18	142.1

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

③ 食料品製造事業 売上高・営業利益

(単位:百万円)

	平成29年3月期 第3四半期	平成30年3月期 第3四半期	前期比較	前期比 (%)
連結売上高	150,853	157,918	7,065	104.7
営業利益	16,881	17,232	351	102.1
食料品製造 売上高	143,527	150,856	7,329	105.1
営業利益	16,629	16,869	240	101.4
菓子食品 売上高	89,593	91,534	1,941	102.2
営業利益	7,098	6,592	▲ 506	92.9
冷菓 売上高	29,675	31,164	1,489	105.0
営業利益	4,173	4,323	150	103.6
健康 売上高	24,258	28,158	3,900	116.1
営業利益	5,358	5,952	594	111.1

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

国内売上高	133,842	140,780	6,938	105.2
海外売上高	9,684	10,076	392	104.0

海外売上高比率(対連結売上高)	6.4%	6.4%
-----------------	------	------